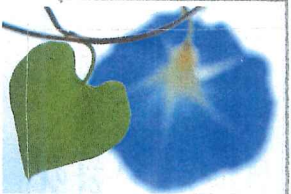


相生デイビス新聞

発行所
相生DS
44-4165



そ水ぞ水の夏の満喫
浜辺に足首を濡らしました。
山に足あと残しました。
盆踊り輪になりました。

思い出を、
ひとつふやして
夏が過ぎ
ゆきまします。

名歌

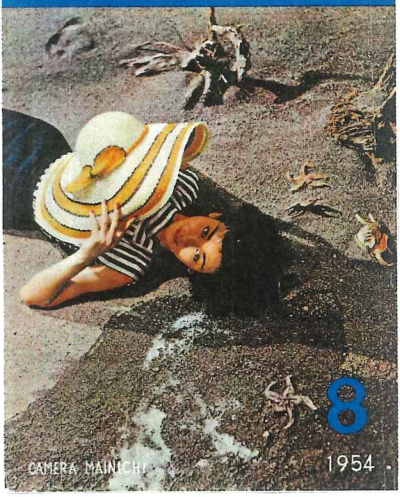
夏の夜はまだ宵ながら
あけぬるを
雲のいづこに月やどるらむ

きよはらのふかやぶ
清原深養父



宮城県伊豆沼

カメラ毎日



毎日新聞社
1954年8月の
写真雑誌(宮本三郎)

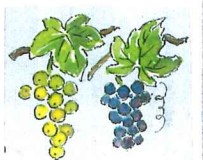
ご存知ですか 五山の送り火

京都の盆の行事。
大文字山に
大の字が夜空に浮かぶ。
この他に大北山の左大文字、
松ヶ崎の妙法、西賀茂明見山の
船形、水尾山の鳥居形。



今月の予定

9(木)	春さんと仲間たち	床屋さん
10(金)	よさこいホパイ	6月
20(月)	つっじ華の会	23(木)
21(火)	ラウレア・フラ	31(金)
*	小林音楽	
*	習字	
*	藤美会	
*	おやつ作り	



絹物語



遊ぶ スマートボール

四万温泉



「血を、
若く元気な血を...」
運の悪い蚊だった。
久しぶりの血は
老いた男の血だった。
男は貧血で倒れ、
蚊は
その男の下敷になった。

? 食べ過ぎてきました。
香川 ・ もんじゃ焼き
東京月島 ・ 肉まん
岡山 ・ 讃岐うどん
福井 ・ きびだんご
横浜中華街 ・ さばの浜焼き

天声珍語

二人だけの
はじめの山
「さあ、歩くぞ」
自分に相手に
言った。
うなずく表情
が可愛かった。
白樺、からま
ぶな、の森を
抜けてゆく。
「だいじょうぶか」
差し出す手に
指がからんだ。
視界がひろが
って
「ここまで、よく
がんばったね」
うん
また、小さく
うなずいた。
月夏がくれば
思い出す
はるかた尾瀬
遠い空...
孫と歩く木道
が湿原をつら
ぬいていた。